

枚方市議会議員 西田まさみつ

チャレンジ21

<発行責任者>

枚方市議会議員 西田まさみつ

住所 枚方市藤阪西町4-3-406

電話・FAX 072-867-9356

Eメール m-nishida@msg.biglobe.ne.jp

URL http://www7a.biglobe.ne.jp/~m-nishida

活動報告

★市議会関係①



平成19年枚方市議会第4回定例会が開催されました！

竹内市長が新しく就任されてから初めての市議会定例会が、10月29日(月)から12月21日(木)までの54日間という長期にわたって開催されました。

主な議事案件は、『竹内市長の所信表明』、『市長の所信表明に対する各派代表者質問』、『平成18年度決算の審議』、『一般質問』、『各種条例の制定・一部改正案の審議』、『意見書案の審議』などでした。これらの審議内容・結果については本年2月に市内全戸に配布される市議会報で紹介される予定ですが、ここでは、その市議会報では十分に掲載されない私の一般質問の内容について、抜粋してその概略を報告させていただきます。



市議会定例会で一般質問を行う西田まさみつ

<西田まさみつの一般質問とそれに対する答弁> (抜粋)

Q市民活動の重要性と市民活動団体への支援について、市長の考えを聞く。

A本市のまちづくりは、熱心な市民活動に支えられてきたものと認識しており、自治都市・枚方を築く大きな力と考える。今後も、NPO活動や地域コミュニティ活動に対する支援は十分行うとともに、行政も役割をきちんと果たし、連携・協力を進めていく。

Q老人クラブは、地域で高齢者が生き生きと生活していくために重要な役割を担っている。市として何らかの支援が必要と考えるが、見解を聞く。

A地域で高齢者が生き生きと暮らすためには、老人クラブの活性化が不可欠だ。老人クラブ活動は、地域福祉の向上につながると考えており、更なる支援を検討していく。

Q保健センターで実施している乳幼児健康診査の未受診児への対応について聞く。

A未受診児への対応としては、4ヶ月児および1歳6ヶ月児健康診査で、未受診児家庭への再度の健診案内や訪問を実施し、受診率の向上に努めている。

Q知的障害児通園施設「すぎの木園」については、“知的障害児に適した園庭遊具の不足”や“トイレや手洗い場が利用児の特性に応じていない”などの問題があると考えますが、見解を聞く。

A「すぎの木園」は昭和49年に開設されたもので、当時は利用児の特性に応じた園庭遊具やトイレ等があまり普及していなかったものと考えます。今後はご指摘の点を踏まえ、具体的な改善をしていく。

Q知的障害者通所更正施設「くすの木園」は築後29年が経ち、老朽化が進んでいる。また、バリアフリーの面でも支障をきたしている。何らかの対策が必要と考えるが、見解を聞く。

A「くすの木園」の老朽化や施設の不具合など



くすの木園

については十分把握している。今後、緊急度や優先度を判断しながら改修を進めていく。

Q 携帯電話を持つ子どもが増えているが、便利な反面、メールを使ったイジメや、インターネット犯罪の被害に遭う危険性をあわせ持っている。携帯電話がもたらす有害環境について、“諸刃の剣”の携帯電話大人が正確な知識を身につけ、子どもを正しく導く必要があると考えるが、どのような対応をしているのか聞く。



A 小・中学校で、情報モラルを情報教育のひとつの柱として取り組むとともに、文部科学省監修の教材を取り入れ、児童・生徒に指導している。また、各学校の担当教員に研修を行い、情報モラルの向上を図っている。保護者には、フィルタリングソフトなどを紹介した国や大阪府のチラシを配布し家庭への啓発に努めている。

Q 枚方東部地域のまちづくりについて、現在の進捗状況を聞く。

A 枚方東部地域のまちづくりについては、平成18年5月に策定された『氷室地域まちづくり構想』に則ったかたちで、「地域の産業等を生かしたまちづくり」、「自然を生かしたまちづくり」、「健康増進のまちづくり」、「住み良いまちの基盤づくり」の4つの施策を柱に各事業を展開している。実例として“公共下水道の整備”については平成22年度完了に向けて推進中であり、“集会所の充実”については平成19年12月までに1区3自治会に対して自治会館建設助成金を交付している。

Q 竹内市長は所信表明で、留守家庭児童会室については「開室時間の午後7時までの延長」及び「障害児の対象学年の拡大」を実施すると述べられた。これらを実現するためには、十分な人的配置や施設整備が必要であると考えますが、見解を聞く。

A 「開室時間の午後7時までの延長」及び「障害児の対象学年の拡大」を行うにあたっては、厚生労働省の「放課後児童クラブガイドライン」の内容や入室児童増加の推移をふまえ、人的・施設の体制の整備を図っていく。

Q 育児放棄や暴力など児童虐待による子どもの人権を脅かす事象が相次いでいる。市は新子ども育成計画の中で、「子どもの人権が尊重される安全なまちづくり」をめざして「子どもの人権擁護の推進を行う」としているが、具体的にどのような取り組みをしているのか聞く。

A 子どもの心身の発達に重大な影響を及ぼす児童虐待の増加やいじめの問題等、子どもの権利侵害が社会問題化する中、児童虐待防止ネットワークの強化や家庭児童相談室の充実を図るなど、子どもの人権を守る相談・支援体制の確立に努めていきたいと考えている。現在、保育士を始め子育てに関わる職員などに対する子どもの人権講座や研修を積極的に行うとともに、子育てにかかわる地域の人材育成にも取り組んでいるところである。



★市議会関係②

枚方市監査委員として頑張っています！

今年度、私は枚方市監査委員という重責を担わせていただいております。

監査委員は議会議員2名と学識経験者2名の合計4名からなり、その監査委員の仕事は『毎月の例月現金出納検査』、『定期監査(教育機関、教育管理部など)』、『財政援助団体監査(シルバー人材センターなど)』、『工事監査実査(第2清掃工場建設工事現場など)』、そして『市民から提出される数々の住民監査請求の審査』などで、超多忙な日々を送っておりますが、この上ない貴重な経験として、やりがいを感じながら頑張っています。



監査委員事務局内の監査委員席にて



監査委員会の様子